



爽風だより

第13号 令和7年11月28日発行

[→爽風学園ブログはこちら](#)

[→東国分中学校HPはこちら](#)

[→稻越小学校HPはこちら](#)

[→曾谷小学校HPはこちら](#)

進路決定に向けて



義務教育最後の学年となる中学3年生たちは、今、進路（卒業後に進む先）の決定に向けて一生懸命取り組んでいます。今回は東国分中3年生の進路（進学）への取組について紹介します。

【学校説明会・体験入学】

市川市から通学可能な学校は数百校あるといわれており、その中から自分に合った進学先を見つけるには、関心をもった学校に直接足を運び、自分自身の目と肌で確かめることが大切です。夏休みから11月にかけては多くの学校で学校説明会や体験入学、文化祭などが開催されています。

【到達度試験】

到達度試験は千葉県内の多くの中学生が行っている模擬試験のこと、本校では3年生は年間で5回、1、2年生においても2回行います。通知表（小学校では「あゆみ」）の成績に影響するものではありませんが、県内における自分の学力を確認したり入試のイメージ練習になったりします。

【進路三者面談】

10月下旬頃に本人・保護者・先生の三者が集まり、取組状況を確認したり受験校を絞ったりしていきます。受験校の選定は、本人及び保護者の意向を重視し、先生はサポート役としてかかわります。

【面接練習】

面接試験は多くの高校で実施されており、個人面接や集団面接など形式もいろいろあります。本校では学年での面接練習に加え、校長による面接練習も行います。面接では、質問された内容にしっかり答えるだけでなく、立ち居振る舞いや言葉遣いも重視されます。



【受験勉強】

中学校では7月を目安に部活動を引退するなど受験勉強に専念できる環境が整えられています。受験勉強は期間が長く範囲も広いので、目的意識をしっかりと持つこと、無理のない計画のもと継続できることがカギとなります。「受験勉強は中3から」と考える人もいると思いますが、中学2年までの積み重ねがあるとないとでは大きく変わってくることや、通知表の成績が反映される調査書（内申書）多くの学校で合否に影響するため、今現在の授業への取組や家庭学習も大切です。

入試は多くの学校で1月中旬から2月中旬の間に行われます。受験期は体調管理や手続きを確実に行なうことも重要になります。これらのことから「進路への取組は大変そう」というイメージをもってしまう人もいると思いますが、この機会に自分の将来について考え、目標を立て、努力するという過程を経験し、自分の力でつかんだ進路先へ夢と希望を抱いて進んでほしいと願っています。